

家庭学習の手引き(4年生)

令和4年度 長崎市立小江原小学校

始める前に

- ◇学校からのお手紙などを、おうちの人に わたしましょう。
- ◇つくえの上や、まわりを せいとんしましょう。
- ◇テレビを消して、しずかにしましょう。

言われたことをこなすだけの宿題から、**自律的に取り組み、学力と、自分で学習する力を身に付ける家庭学習**への転換を図っていくための手引きです。

保護者の皆様



1 自律的な家庭学習

① 家庭学習を始める前に

- 学校からの配布物を確認する。
(直接受け取れない場合は、出す場所を決めておく)
- 学習する場所の整頓をする。
- テレビなどを消し、静かな環境にする。

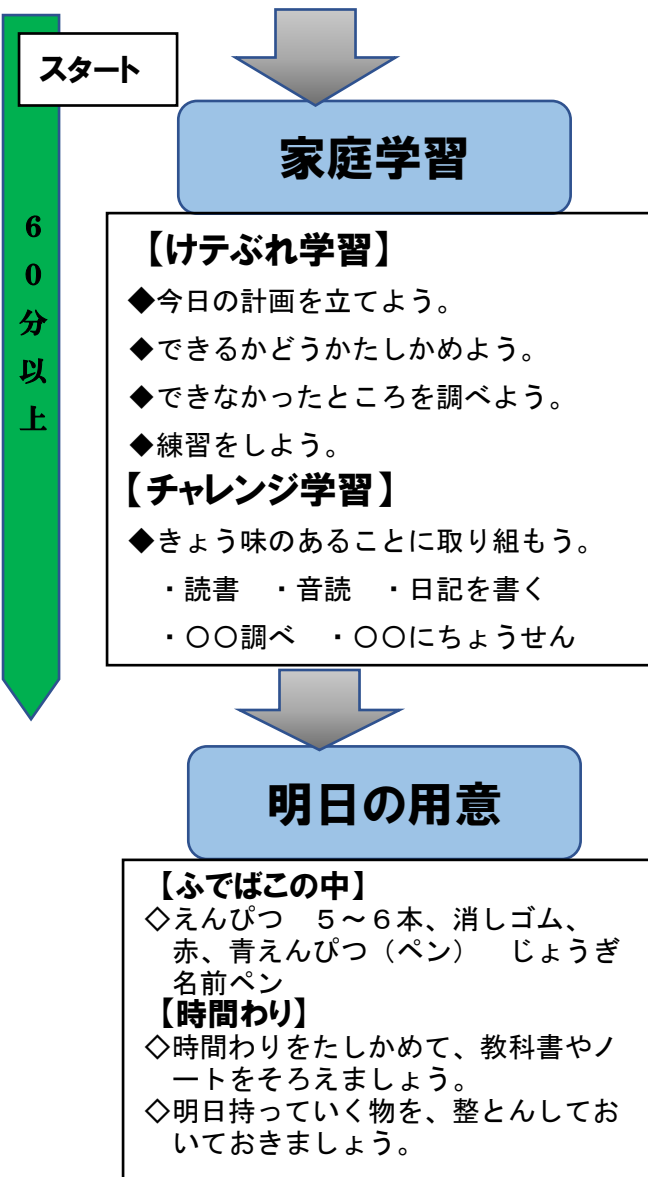
② 家庭学習の手順(けてぶれ学習)

- (1) 何に取り組むか決める (計画)
- (2) できるかどうか確かめる (テスト)
- (3) 間違ったところを調べる (分析)
- (4) 身につくように練習する (練習)

2 家庭学習における保護者の役割

- ① 毎日机に向かう習慣づくり
- ② 学ぶための静かな環境づくり
- ③ 見守り、目を通し、励ます
- ④ 気になることは、担任に知らせる

では、家庭学習を 始めましょう!



家でい学習用ノートを用意しよう!

【計画】けいかく

- 学校の学習でむずかしかったこと、おぼえたいこと、上手になりたいこと などの中から、**することやがんばることを決めて書く**。(先生から、することを言われることもあります)
- ・算数ドリル ・漢字を書く ・音読 など

【テスト】テスト

- 自分で問題をして、まるつけをしてできるところで **できないところをたしかめる**。

【分析】ぶんせき

- まちがえたところや、よくできなかったところを調べて、**気づいたことや考えたことを書く**。

【練習】れんしゅう

- できるようになるために練習する。
- ・にている問題をする。
- ・まちがった漢字を 正しく書けるまでくり返し書く。
- ・すらすら読めるように何度も読む。 など
- ・学習のふり返りを書く。

